

保護者様

今治市立吉海小学校長 飯野 謙一

学校評価の結果の報告

初秋の候、皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、7月には、保護者の皆様にご協力いただいて、吉海小学校の学校教育に関するアンケート調査を実施しました。それらの結果と今後の改善点について、下記のとおりお知らせいたします。評価については、90%以上達成なら「◎」、70%以上達成なら「○」、50%以上達成なら「△」、50%未満の達成なら「×」で示しています。なお、この結果や改善点についてご質問等がある場合は、学校までご連絡ください。

記

1 自己評価の結果
(1) 確かな学力の定着・向上

	評価の観点	評価	
1	児童は、授業内容が理解できているか。	教師	○
		保護者	○
		児童	◎

	評価の観点	評価	
2	児童は、進んで読書をしているか。	教師	○
		保護者	×
		児童	○

	評価の観点	評価	
3	児童は、決められた時間（低学年30分、中学年45分、高学年1時間）、毎日学習に取り組んでいるか。	教師	△
		保護者	○
		児童	△

	評価の観点	評価	
4	児童は、忘れ物がないように次の日の準備をしているか。	教師	◎
		保護者	○
		児童	◎



- 1： 昨年度に引き続き、保護者の皆様に学習内容や学習状況を伝えることができるよう、第2・4金曜日に「学習ファイル」を持ち帰ります。小学生にとって、ふり返しを行うことこそが最大の「知識・技能の定着」の手段となります。目を通していただき、励ましの言葉掛けや「ふり返しプリント」による復習にご活用ください。また、見た印もお願いします。
- 2： 図書委員会による読書啓発イベントで、全教職員のおすすめの本を紹介したり、学級担任が一人一人に応じた本を選んで勧めたりして、多分野の本に触れる機会を設けます。週末に図書の本を持ち帰った際には、ぜひお子様と一緒に読書に取り組んでいただき、感想を伝え合ってみてください。
- 3： 学級担任が集まり、宿題の量や「学習ファイル」への取り組み方について協議しました。中学校では、毎日の宿題として「自主学習ノート」が出ているようです。宿題だけでなく、自分自身で取り組むことのできる学習を探して少しずつ取り組んでみましょう。
- 4： 落ち着いて学習するためには、忘れ物をしないことが第一です。学校では、計画帳に印を付けながら準備することで、自分で確認する意識を持たせられるよう指導しています。今後も、ご家庭からのお声掛けをいただけると幸いです。

(2) 豊かな心の育成

	評価の観点	評価	
1	児童は、学校や家庭、地域で、進んで挨拶をしているか。	教師	◎
		保護者	◎
		児童	◎

	評価の観点	評価	
2	児童は、生活の中のいじめや差別に気付き、正しい行動をしているか。	教師	◎
		保護者	◎
		児童	◎

	評価の観点	評価	
3	児童は、友達の良さや違いを認め、支え合う仲間づくりができているか。	教師	◎
		保護者	◎
		児童	◎

	評価の観点	評価	
4	児童は、下級生と上級生と良い人間関係ができているか。	教師	◎
		保護者	◎
		児童	◎

	評価の観点	評価	
5	児童は、整理・整頓を心掛けたり、時間を守って行動したりしているか。	教師	○
		保護者	○
		児童	○



- 1： 吉海小学校の伝統でもある「6年生による朝の挨拶運動」を、今年も実施しています。朝から元気の良い声が響き、教職員も元気ももらっています。また、地域の方からも声を掛けていただいていることを、児童がうれしそうに報告してくれます。ありがとうございます。これからも、よろしくお願いいたします。
- 2： 学校生活の様々な場面と道徳の学習内容とを結び付けながら、一人一人の人権感覚を養えるよう指導しています。しかし、無意識のうちに人を傷つける発言や行動をとってしまうことがあります。見逃しや聞き逃しが無いよう気を付けて見守り、指導をしています。気になることがあれば遠慮なくご相談ください。
- 3・4： 縦割り班活動の時間を楽しみにしている児童が多く、清掃にも遊びにも生き生きと取り組んでいる姿が見られます。縦割り班活動には、6年生を中心とした話し合い活動が欠かせません。メンバーを一人一人受け入れ、うまく活動できるよう仲間と協力する姿も輝いています。
- 5： 予鈴で気持ちを切り替えて、授業に向かう姿勢が定着しています。一方で、予鈴後の黙動、教室環境美化や靴箱、トイレのスリッパの整頓などについては、繰り返し指導しています。身の回りをすっきりとさせ、落ち着いた環境で学校生活を送らせたいと思います。

(3) 健康・体力の向上

	評価の観点	評価	
1	児童は、体力づくりに粘り強く取り組めたか。	教 師	◎
		保護者	○
		児 童	○

	評価の観点	評価	
2	児童は「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いているか。	教 師	○
		保護者	◎
		児 童	◎

	評価の観点	評価	
3	児童は、けがをしないよう安全に気を付けて生活しているか。	教 師	○
		保護者	◎
		児 童	◎

	評価の観点	評価	
4	児童は、健康や栄養のことを考え、好き嫌いをせず食事をしているか。	教 師	◎
		保護者	△
		児 童	○



- 1： 休み時間になると、運動場で元気に体を動かす児童が多くいます。また、昨年度同様、5・6月の2か月間、業間の時間を活用して体力づくりに取り組みました。リズムに乗り、楽しみながら基本的な体の動き（新体力テストの結果から課題が見られた「走る」「投げる」「握る」）を身に付けることを目的としていました。秋季大運動会に全力で取り組んだ後は、校内持久走大会やみんなでジャンプ集会に向けて、練習に励む予定です。
- 2： 毎日バランスの良い朝食をとり、同じくらいの時刻に寝たり起きたりしている児童は、学校生活も元気に過ごせると思います。日頃の生活習慣を見直すことで、体調も良くなり、学習面での成果も期待できます。
- 3： 廊下歩行は、自分や相手の安全を守るためのルールであることを意識統一し、より良い姿を勧める声掛けを行っていきます。
- 4： 給食の時間を楽しみにしている児童が多いです。学校では、無理強いはしませんが、苦手な食材にも少しずつ挑戦していくことができるよう、栄養教諭と学級担任が連携しながら取り組んでいます。ご家庭での偏食が気になる場合は、栄養教諭にご相談ください。

(4) 安全・安心で信頼される学校づくりの推進

	評価の観点	評価	
1	学校は、感染症や熱中症の対策に努め、安全・安心な教育活動を実施しているか。	教 師	◎
		保護者	◎
		児 童	

	評価の観点	評価	
2	教職員は、児童が困ったときに相談に乗っているか。	教 師	◎
		保護者	◎
		児 童	◎

- 1： 運動会練習や課外活動では、R6年度卒業記念品のミストシャワーや冷凍庫を活用した「冷凍タオル」での体の冷却、こまめな水分補給、経口補水液の常備、テントの設置など、熱中症対策に積極的に取り組んでいます。
- 2： 気になることがございましたら、今後も遠慮なくお声掛けください。

(5) 地域等との連携

	評価の観点	評価	
1	学校は、地域と連携した教育活動を積極的に実施しているか。	教 師	◎
		保護者	◎
		児 童	

- 1： いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。学校の教育活動は、地域と家庭と学校との3者が連携してこそ成り立ちます。今後とも、よろしくお願いいたします。



(6) 保護者の皆様からの学校教育に対するご意見やご感想

- ① 先生方が、子供の性格や心理をよく理解してくださっています。忘れ物に対する緊張感が強いように思います。
→ これからも、全教職員で、児童一人一人に寄り添った丁寧な指導や声掛けを行っていきたいと思います。
- ② 学校全体で児童一人一人を見てくださっていることが、子供の話から伝わってきます。いつもありがとうございます。
→ 全教職員で、一人も取り残すことのない教育を心掛けています。今後も、小規模校ならではの強みを生かした教育活動を行っていきます。
- ③ 同級生や上級生との関わりの中で、時々心を痛めている様子がありました。先生に話せるときもあるそうですが、なかなか話せないようです。
→ 登校後から下校までの間、休み時間も可能な限り児童に寄り添い、見逃しや聞き逃しがないよう気を付けて見守っています。気になる様子が見られましたら、お声掛けください。
- ④ 漢字の書き方を丁寧に教えていただいているので、日に日に上手になっていてうれしいです。
→ 継続は力なり。毎日、児童の家庭学習に寄り添ってくださっている保護者の皆様の励ましの言葉が成長につながっています。今後も、家庭と学校が協力しながら児童を応援していくことができれば幸いです。
- ⑤ 子供たちの熱中症対策や災害時の避難所生活に対する備えとして、屋内運動場にエアコンを設置してほしいです。
→ 体育館へのエアコン設置についてご意見をいただき、ありがとうございます。要望は十分理解しておりますが、家庭科室や図工室もエアコンが未設置であり、設置には多大な費用や施設上の制約があるため、現時点では学校単独で実施することは困難な状況です。今後も市教育委員会と連携しながら、児童の安全と健康に配慮した環境づくりに努めてまいります。
- ⑥ ウォータースタンドを設置してほしいです。
→ 衛生管理の面で難しい状況です。荷物が重くなりますが、今後も水筒の準備をお願いいたします。
- ⑦ 親の手助けが必要な長期休業中の宿題（作品募集）をなくすことはできないでしょうか。
→ 児童にとって、長期休業を生かして何かに挑戦し、達成感を味わう良い機会です。また、新しい才能が開花したり、制作の面白さに気付いたりする可能性もあります。児童自身の作品でかまいません。応援のお声掛けをいただくと児童のやる気となるはずです。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

